

科目名	建築施工	英語科目名	Building Construction
開講年度・学期	平成 26 年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科 5 年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2	単位種類	履修単位 30h
担当教員	川上勝弥	居室（もしくは所属）	建築学科棟 2 階
電話	839（内線）	E-mail	kawakatu@小山高専
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の 教育方針	学習・教育到達 目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 工事に要する日数から工程表を作成できること。	④	B	d-3
2. コンクリートの強度、養生等の関係について説明できること。	③、④	○A	d-1
3. 鉄骨の接合工法の特徴について説明できること。	③、④	○A	d-1
4. 仕上げ工事における、施工上の留意点について説明できること。	③、④	A	d-1
5. 建設副産物について説明できること。	③、④	A	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
到達目標について、中間試験および定期試験の成績並びに提出レポートの内容で評価し、60%以上の成績で評価する。			
評価方法			
評価は、次の 3 項目により行う。			
1. 中間試験 (40%)			
2. 定期試験 (40%)			
3. 提出レポート (20%)			
なお、試験における参考書、コピー、携帯電話、電卓、ノート、メモ等の持ち込みは不可とする。			
授業内容			
1. 建築施工の特異性について－建築基準法、仕様書（1 週）			
2. 施工計画－施工計画書、設計図書、事前調査（1 週）			
3. 工程管理－工程表、管理図（1 週）			
4. 仮設工事（1）－仮設、足場、（1 週）			
5. 仮設工事（2）－建設機械（1 週）			
6. 土工事（1）－根切り、山留め、排水（1 週）			
7. 土工事（2）－くい工事（1 週）			
8. 前期中間試験（1 週）			
9. 〔前期中間試験の答案返却・解説〕、鉄筋コンクリート工事（1）－鉄筋工事（1 週）			
10. 鉄筋コンクリート工事（2）－型枠工事（1 週）			
11. 鉄筋コンクリート工事（3）－コンクリート工事（1 週）			
12. 鉄筋コンクリート工事（4）－検査（1 週）			
13. 鉄骨工事（1）－建て方（1 週）			
14. 鉄骨工事（2）－接合（1 週）			
15. 鉄骨工事（3）－工事管理のポイント、検査（1 週）			
（定期試験）			
16. メーソンリー工事－組積、充填、目地（1 週）			
17. ALC 工事－屋根・床工法、壁工法（1 週）			
18. 石工事－湿式工法、乾式工法（1 週）			
19. 防水工事－アスファルト防水、シーリング防水（1 週）			
20. タイル工事－タイル張り工法（1 週）			
21. 木工事－木材の乾燥、使用部位（1 週）			
22. カーテンウォール工事－取付方法、ジョイント（1 週）			
23. 後期中間試験（1 週）			
24. 〔後期中間試験の答案返却・解説〕、左官工事－日本壁、プラスター塗り（1 週）			
25. ガラス工事－固定方法（1 週）			
26. 塗装工事－塗料の種類と特徴、吹き付け（1 週）			
27. 内装工事－施工のポイント（1 週）			
28. 解体工事－解体方法、廃棄物処理、建設副産物（1 週）			
29. クレーン予防－クレーン、かし（1 週）			
30. 安全と建設公害－労働安全衛生法（1 週）			
（定期試験）			
キーワード	建築施工、JASS、躯体工事、仕上げ工事、建設副産物		
教科書	大岸佐吉・中山五郎編「現代 建築生産」オーム社		
参考書	日本建築学会「建築工事標準仕様書 (JASS)」		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築材料、建築実験、鉄筋コンクリート構造、鋼構造		
現学年の関連科目	建築法規		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
1. 建築における“ものづくり”に関する講義を中心とするので、専門用語に慣れること。			
2. 建築士試験要件の指定科目であるので、単位取得を目指すこと。			
シラバス作成年月日	平成 26 年 2 月 28 日		